

麻しん風しん第2期接種率向上の取り組み事例 - 5

第2期麻しん風しん予防接種の接種勧奨の取り組みについて

小田原市福祉健康部健康づくり課(保健センター内)健康推進担当

昨(2007)年度、小田原市における第2期麻しん風しん予防接種の接種率は約97%であった。一昨年度と比較すると、接種率が10%以上上昇しており、麻しんの予防接種を2回行うことに対し、市民の周知度が広まってきたものと思われる。

当市では、昨年度、接種勧奨の取り組みを以下のように行った。

第一に、対象者の保護者に対し、7月頃にチラシを配布。第二に、同じく対象者の保護者に対し、年明け1月頃にハガキを送付。第三に、市報、ホームページ及び「健康カレンダー」への掲載。第四に、健診時における口頭での勧奨。そのほか、麻しん予防接種の特別措置を行った。

1. 7月頃のチラシの配布

対象者が幼稚園・保育園等の年長児であるため、接種如何に関わらず、市内各園の年長児全員に対し、A4サイズ1枚程度のチラシを配布した。当市の対象人数から述べると、およそ2,000枚近くを配布している。

2. 年明け1月頃のハガキの送付

これは未接種者に対し個別に郵送しているものである。当市では、各種健康診査や予防接種歴などの情報を「健康情報システム」というシステムを用いてコンピュータ管理をしている。このシステムを用いて予防接種の未接種者を導き出し、当該年度中に接種していただけるよう、個別通知をしているものである。

3. 市報への掲載

当市では、毎月1日(主に政策的な情報を掲載)と15日(主にお知らせを掲載)に広報紙を発行しており、機会を捉えて周知をするようにしている。昨年度は、春先の4月15日号と5月15日号に、麻しん、風しん予防接種が2回に増えた旨及び対象者への接種勧奨について掲載し、そのほか6月1日号にも麻しんの流行についての記事を掲載した。また、市のホームページ上でも、接種勧奨を行っている。

ほかに、「健康カレンダー」への掲載を行っている。この「健康カレンダー」は、各種健診日時や医療機関の紹介など、当該年度における健康に関する総合的な情報を盛り込んでいる冊子で、毎年1回、年度始めに、市内の各家庭に対し配布しているものである。この中の「子どもの予防接種」のページに、麻しん風しん第2期の対象年齢を記載し、接種勧奨を行っている。

4. 健診時における口頭での勧奨

毎年秋に行う就学時健診の際に行っている。このときには、口頭で勧奨することと同時に、チラシも併せて配布している。

5. その他

当市では、平成19年10月15日から20年3月31日まで、麻しん予防接種の特別措置を実施した。特別措置とは、「小田原市民の2歳から中学校3年生のお子さんで、これまで麻しん予防接種を受

けたことがなく、かつ、麻しんに罹患していない方(ただし第2期対象者は除く)」を対象に、全額公費負担で麻しん予防接種を行ったものである。この特別措置を実施するにあたり、各小中学校や幼稚園・保育園を通じて、通知文を配布し周知を図った。第2期麻しん予防接種における直接的な接種勧奨にはならないものの、麻しん全体の予防接種を促した点から、意義のある取組みであったと思われる。この特別措置を通して、100名を超える方が接種されている。特別措置の推進にあたっては、各医療機関から多大なご協力をいただいた。

以上のように、当市では、顔を合わせた対応とともに、各種文書による通知を組み合わせる接種勧奨を行った。

受け取り手である市民の心に響かなければ、周知を行ったとはいえない。今後も、いかに効果的な接種勧奨を行っていくかが課題となっている。